

しょういん

大阪樟蔭女子大学

大学院人間科学研究科

修士
課程

美を通して社会に貢献する

 **美 Beautiful**

OSAKA SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY

Osaka Shoin Women's University
Graduate School of Human Science
2023

| 人間栄養学専攻

昼夜開講



食と健康の新しい地平を拓く、
先進的な取り組みが始まっています。



栄養と医療と食品の三面から高度な知識と実践力を兼ね備えた「食と健康」のプロを育成します。

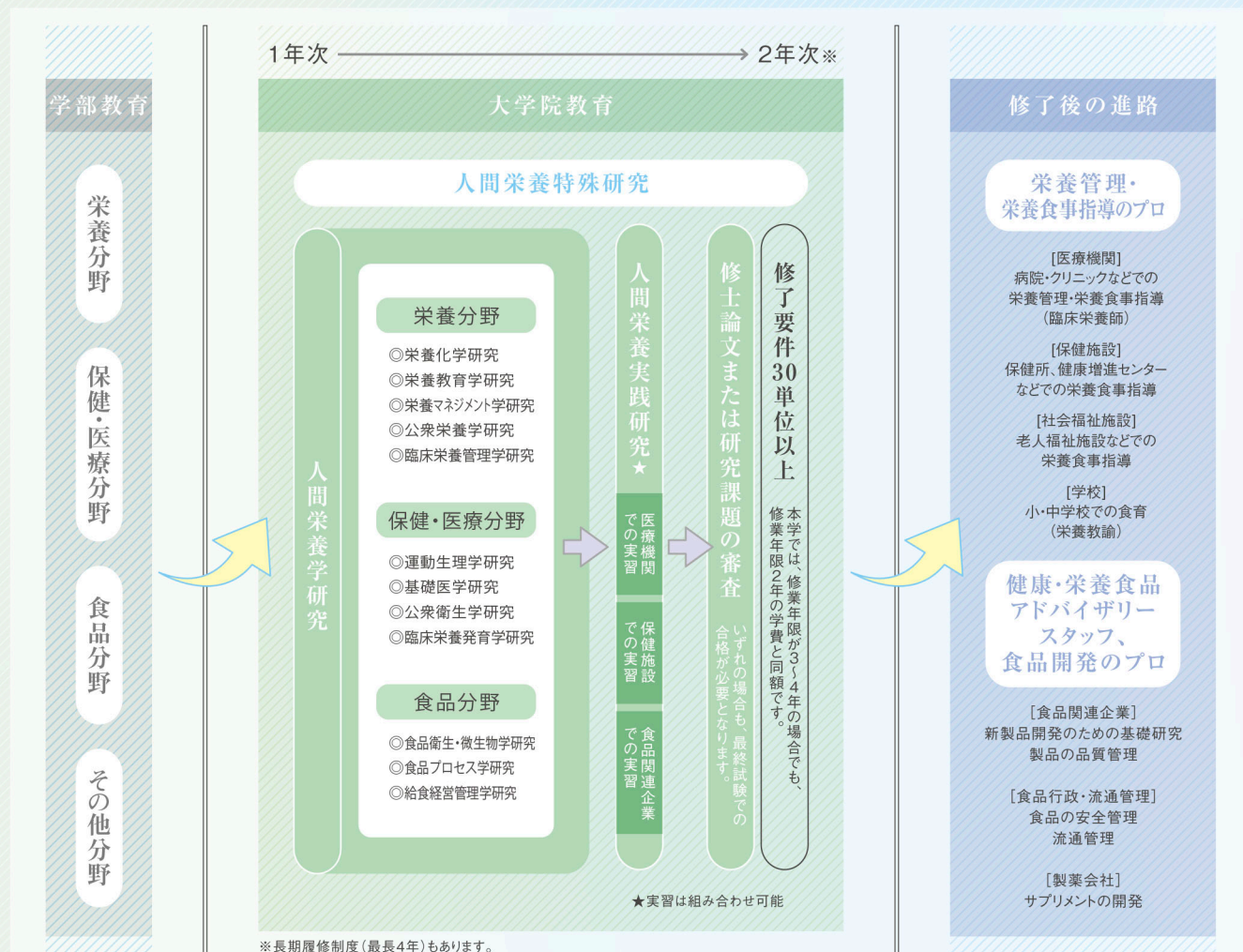
人間栄養学では、食と健康を多角的に見つめながら、人間の存在そのものを学際的に追究します。

過剰栄養や栄養不均衡による生活習慣病、食物を媒介とする感染症、遺伝子組み換え食品の社会的認知、さらにはストレスによる過食・拒食やダイエットによる栄養欠乏、入院患者および高齢者の低栄養状態……。現代社会では、従来の学問の枠組みでは解決が難しい問題が多発し、消費者が「食」に不安や不信感を感じる生活を余儀なくされています。こうした状況を背景にわが国では、栄養学的な側面にとどまらない幅広い視野をもった栄養・食品のプロの育成が大きな課題となっています。「人間栄養学」という考え方では、人体の構造や生理機能といった身体的側面だけでなく、心理面、精神面、食行動や生活スタイルの変化など、私たちを取り巻く社会環境を含めた人間の総合理解をベースに、「食」と「健康」のあり方、つまりは人間の存在そのものを学際的に追究します。

高度な専門性を体系的に身につける独自のカリキュラム

食物科学と医学・保健学を融合し、学部教育との継続性を重視した体系的・系統的なカリキュラムを編成。

食物科学と医学・保健学を有機的に融合させ、広く総合人間科学の視点を取り入れた独自のカリキュラムを編成。学部教育との継続性を重視し、4年間で培われた専門性を系統的に向上させる目的で、教育課程を「研究基礎科目」「研究展開科目」「研究実習科目」「研究演習科目（修士論文・課題研究指導）」の4科目群で構成します。さらに修了後の進路から2つの履修モデルを設定し、実践的な知識・技能を効果的に身につけられるよう配慮しています。



修了後の進路について

管理栄養士資格を取得済みの方

臨床栄養師

臨床の現場に特化した資格といえるのが、「臨床栄養師」です。近年、NST(栄養サポートチーム)と呼ばれるチーム医療が注目を集めており、より高度な臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を有する臨床栄養師は、不可欠な存在となっています。本専攻では臨床栄養師および研修生を輩出しており、現在、病院等でNSTの一員として活躍しています。



臨床栄養師資格

「臨床栄養師」資格は、人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントの質の向上に貢献できる能力を持つ者の育成のため、日本健康・栄養システム学会の主導で設立されました。資格取得には100時間の認定講座と900時間の臨床研修を受け、その後、認定試験と論文試験に合格することが必要です。

日本で最初の認定講座指定校

本学大学院は、日本で初めて設立した「臨床栄養師認定講座」指定校で、資格取得に必要な100時間の認定講座は、本大学院で在学中に受講可能です。また900時間の臨床研修は、本大学院の開講科目「人間栄養実践研究」での病院研修に参加すれば在学中に修了でき、「臨床栄養師」認定試験の受験資格を取得することが可能となります。

栄養教諭

「栄養教諭」の専修免許が取得できる数少ない大学院

栄養教諭とは、教育現場で、学校給食の管理とともに、児童・生徒が正しい食習慣を身につけるための食教育を教員・家庭・地域などと協力して行う専門職です。この栄養教諭の免許には、「専修免許状」「一種免許状」「二種免許状」の3種があり、本学大学院では、栄養教諭一種免許状を有している人を対象として、専修免許状が取得できる課程を設置しています。また、一種免許状を有しない人についても、本学健康栄養学科で開設している科目を履修すれば、専修免許状を取得できる場合があります(同時に管理栄養士を有していること)。



就職実績

主な就職先

国立病院機構近畿中央呼吸器センター(管理栄養士)・滋賀医科大学医学部附属病院(管理栄養士/臨床栄養師)・京都府立医科大学(研究員)・高知大学医学部附属病院(管理栄養士/臨床栄養師)・大阪樟蔭女子大学・園田学園女子大学・相愛大学・東洋食品工業短期大学・大塚製薬グループ会社・大阪ガスグループ会社・京都グレインシステム株式会社・キャバトレイシイ株式会社・大阪府下小学校(栄養教諭)・関西圏私立中学、高等学校(家庭科教諭) 他

食品関連分野に興味のある方

栄養と食品のプロ

本学大学院の「人間栄養実践研究」では、食品成分の有効性評価に必要な知識や技術習得だけでなく、食品開発や食品管理分野で必要とされるスキルも修得します。また、臨床研究の実施法やデータ解析の知識と技術は、臨床や公衆衛生の場における栄養食事指導や研究活動に幅広く応用が可能。課題発見能力、問題解決能力、研究遂行能力を身に付け、各分野でのオピニオンリーダーをめざします。



学びを支える制度

奨学金制度

本学には、独自の公募制・推薦制の奨学金制度があります。公募制の「給付奨学金」は、本学の1年次・2年次の大学院生が対象で、経済的事情により就学が困難と認められた学生に給付されます。また、推薦制の「特別給付奨学金」は、本学の2年次の大学院生が対象で、専攻長に推薦された人に給付されます。どちらも年間支給額30万円で、返還不要となっています。

長期履修制度

標準の修業年数(2年)で修了することが困難な方は、修業年限を3年または4年に延長ができ、尚且つ学費総額は増えない制度があります。入学時に長期履修を選択した場合、授業料等の納付金は、標準修業年限2年の場合に支払うべき授業料など総額を、在籍年数に合わせて、分割納入していただきます。

昼夜開講制度

社会人が働きながら無理なく通学できることを最優先に考え、授業時間帯を平日の夕方以降や土曜日の昼間を中心に配置しています。一部の科目については土日や長期休暇期間などを利用した集中講義形式で授業を展開します。

※本専攻では、6講時:18:20~19:50、7講時:20:00~21:30を中心に授業を開講します。一部科目は、5講時:16:20~17:50にも開講。土曜日は昼間開講となります。

★オンラインを活用した遠隔指導も適宜取り入れます。

研究指導教員紹介

栄養分野

井尻 吉信 (Yoshinobu Ijiri) 教授



■研究指導内容

本研究室では、管理栄養士による栄養食事指導を無床診療所（クリニック）に普及させていくことを目的とした研究を行っています。具体的には、「各施設における患者実態・ニーズ調査」や「継続性がありかつ効果的な栄養食事指導方法の確立」を目指します。

■担当科目 臨床栄養管理学研究

木村 雅浩 (Masahiro Kimura) 教授



■研究指導内容

特定保健用食品の累計許可品目数は1000件を超えている。このうち、令和2年度の累計許可品目における保健の用途として中性脂肪・体脂肪、コレステロール、血糖値の占める割合が45.5%である。当研究室では、このように注目されているコレステロールやトリグリセリドの血中濃度を低下させる食品成分についての研究を進めています。

■担当科目 栄養化学研究

保健・医療分野

開道 貴信 (Takanobu Kaido) 教授



■研究指導内容

基礎医学の先人による様々な偉大な研究業績は、現代社会において様々な恩恵を与えています。こうした研究はなぜどのように成し遂げられたのかを振り返ることは、研究者として研究を進めていく上で重要な知恵を得ることができます。また近年捏造や剽窃などの研究における不正行為への批判も叫ばれる中、研究倫理の重要性についても学んでいきます。

■担当科目 基礎医学研究

津川 尚子 (Naoko Tsugawa) 教授



■研究指導内容

超高齢社会のわが国において加齢性疾患予防は重要な課題です。脂溶性ビタミンであるビタミンD・Kは加齢性疾患といえる骨粗鬆症の予防に役立つだけでなく、心血管疾患予防、がん細胞や脳神経細胞の増殖・分化、免疫に関与することがわかってきました。これらの機能を分子栄養学的、疫学的に研究し、栄養改善により加齢性疾患を予防することを目指します。

■担当科目 公衆衛生学研究

三善 陽子 (Youko Miyoshi) 教授



■研究指導内容

発育の途上にある小児にとって、適切な栄養摂取が健全な成長発育に欠かせません。生活習慣病は決して成人のものだけでなく、食生活の乱れや環境の変化は、様々な小児疾患の原因となります。本研究室では、小児の健康状態を客観的に評価できる手法を開発し、栄養学的な観点から小児疾患の予防を目指した研究を行います。

■担当科目 臨床栄養発育学研究

鈴木 朋子 (Tomoko Suzuki) 教授



■研究指導内容

食行動などの人々の健康行動は、日常生活のなかで習慣化されるので、疾病予防を促進するには、健康的な生活習慣をサポートする必要があります。本研究室では、健康支援のあり方について考え、健康教育やヘルスプロモーションについての研究を行います。

■担当科目 栄養教育学研究

三輪 孝士 (Takashi Miwa) 教授



■研究指導内容

栄養をマネジメントすることは傷病者を栄養面から支援して回復に向かわせるだけでなく、ライフステージすべての人に対する一層の健康増進に栄養面から寄与することをコアとします。栄養状態および栄養摂取法の評価とこれが短・長期的にどのように影響するかを検証しています。

■担当科目 栄養マネジメント学研究

食品分野

一條 知昭 (Tomoaki Ichijo) 准教授



■研究指導内容

食品の安全性を確保するためには、食品中や食品製造環境などに存在する微生物について正しく理解し、適切に管理することが不可欠です。本研究室では食品を取り巻く環境中の微生物の全体像を把握し、そして対策へとつなげるため、分子微生物生態学的手法を積極的に取り入れながら研究を進めています。

■担当科目 食品衛生・微生物学研究

稲垣 秀一郎 (Shuichiro Inagaki) 准教授



■研究指導内容

発酵食品は、製造に用いられる発酵微生物による影響を受けて大規模な成分変化が生じ、原材料にはない性質が付与されています。本研究室では、発酵食品の機能性に焦点をあて、発酵による成分変化と機能性の付与との関連性を解き明かすことを目的に研究を行っています。また、このような基礎的な研究成果から、機能性に着目した新たな発酵食品や機能性食品の開発を目指しています。

■担当科目 食品プロセス学研究



※掲載している教員は、2022年度現在のものであります。

実践力を高める「人間栄養実践研究」

医療機関、食品関連企業における臨地実習により、実践能力を高めます。

研究基礎・展開科目で培った専門的な知識・技能を実践的に高めるため、

1、2年次に「人間栄養実践研究」として臨地実習を導入。実習先担当者および本学教員による綿密な指導のもと、進路や研究内容に応じた実習先・実習期間・実習内容を計画し、

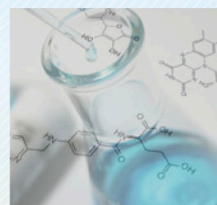
学外の医療機関や食品関連企業などにおける実習を継続して行う独自のシステムを構築しています。

医療機関での臨地実習

栄養療法を必要とする患者が増加傾向にある医療現場では、「臨床栄養」の管理部門を院内の1カ所に集約し、専門の知識と技術を持ったチームとして栄養管理に取り組むNST（Nutrition Support Team）の必要性が認識されつつあります。そのため医療機関での臨地実習では、調理・食事指導などの「栄養・食品のプロ」としての管理栄養士の特性を基礎として生かしながら、実際の臨床の現場で行われている「臨床栄養」に重点を置いて実施します。具体的には、患者の栄養状態の評価（Assessment）、栄養管理の具体的な方法（経静脈栄養および経腸栄養等：各栄養素の必要量・投与量の算出）の計画立案（Planning）とその施行・管理（Management）、そしてその評価（Evaluation）ができること、さらには、これらの一連の作業内容と結果を集積・分析・評価し、創意工夫・研究できる能力を養成します。

食品関連企業での臨地実習

今日、食品には単にエネルギー補給という目的だけでなく、疾病の一次予防の観点からその食品の持つ栄養性・機能性が注目されるなど、さまざまな要素が求められるようになりました。食品関連企業では多様化する消費者のニーズに応えるべく、生化学・バイオテクノロジーなどの技術を駆使し、基礎研究から商品開発、そして商品の品質管理やフォローまで行っています。食品関連企業の臨地実習では、最前線の企業研究室において実験や業務助手を体験することにより、人間栄養学をさらに体系的に身につけることをめざします。



社会医療法人近森会 近森病院との包括提携（チーム医療の実践に向けて）

近森病院（高知市）と大阪樟蔭女子大学は、平成23年4月に医療・臨床栄養における知的・人的資源の交流提携を推進し、相互の教育と研究や地域社会への貢献を目的として包括提携に関する協定を結びました。これは、日本で初めての「臨床栄養師」認定講座指定校として認められた大学院人間科学研究科人間栄養学専攻を擁する本学と、医療スタッフがチームとなって患者の栄養状態を管理する「栄養サポートチーム（NST※1）」の先進的な取り組みで全国的に有名な「近森病院※2」が、お互いに連携して活動していくことに合意したものです。

900時間の実習と100時間の講義が必要とされる臨床栄養師養成において、本大学院生が近森病院の「管理栄養士実習制度（1年間）」を利用できる他、共同研究を進めることにより、医療における栄養管理の研究・発展に貢献するだけでなく、より多くの病院で「栄養サポートチーム（NST）」の取り組みが採用されることにつなげていきたいと考えています。

※1) NST: Nutrition Support Team ※2) 朝日新聞2009年9月11日に紹介記事掲載



くすのき健康栄養センター

（正式名称：大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科人間栄養学専攻附属 くすのき健康栄養センター）



地域社会の健康維持・増進を栄養面からアプローチ

本学では大学院附属の「くすのき健康栄養センター」を設置し、栄養の専門家の教育・育成に関するアカデミックなスキルを一般に提供するとともに、この地域の多くの方々が健康的な食生活をおくり、地域活性化の原動力となるような「元気」を支援していきます。

具体的にはこの「くすのき健康栄養センター」を、地域連携と教育活動の拠点として活用し、一般の方を対象に健康相談や食育相談を行い、料理教室や健康的な食べ方セミナーなどを開催していきます。また、大学院生の教育ならびにすでに社会人となっている専門家の再教育に取り組み、栄養士・管理栄養士の活躍の場を拡げたいと考えています。さらに、このような活動を通じて、東大阪市を中心とする近隣地域の行政機関、医療関連団体、栄養関連団体、企業並びに近隣大学等との連携をはかり、地域での包括的な栄養と健康増進関連の社会貢献に努めます。



活動内容

- | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|---|
| ● 栄養相談
個人栄養相談
食事分析など | ● 栄養食事指導
特定保健指導
在宅訪問など | ● 健康栄養講座
出張講座
ヘルシー親子教室など | ● 健康栄養イベント
健康栄養セミナー
健康栄養フェアなど | ● 多職場連携・スキルアップ講座
多職場連絡会
リカレント講座など |
|----------------------------|------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|---|





●人間栄養学専攻 ●臨床心理学専攻 ●化粧ファッション学専攻

●学芸学部／国文学科 国際英語学科 心理学科 ライフプランニング学科 化粧ファッション学科
●児童教育学部／児童教育学科
●健康栄養学部／健康栄養学科

※2023年度募集要項をご覧ください。

募集対象：4年制大学を卒業した女性
(もしくは同等以上の学力があると認めた女性)

The map illustrates the Osaka Shoin Women's University campus and its accessibility via public transportation. The university is located in the center of the map, with the main building and a green building marked. Surrounding the university are several train lines and stations. Key stations include Shinjima (新島), Naniwa (難波), and Nishi-Shinjima (西新島). The map also shows the surrounding area, including the city of Osaka and the surrounding regions. The map is color-coded to show different lines and stations. The university's name is written in both Japanese and English: 大阪樟蔭女子大学 and OSAKA SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY. The map includes a scale bar and a compass rose.

河内永和駅

近鉄「河内永和駅」下車
東へ徒歩5分

近鉄奈良線

近鉄「河内小阪駅」下車
西へ徒歩4分

北門

正門

河内小阪駅

● 三井住友銀行

● 有料駐車場

JR河内永和駅

JR河内永和駅

JR河内永和駅

- 近鉄奈良線「河内小阪駅」下車
西へ徒歩4分(300m)
- JRおおさか東線「JR河内永和駅」下車
東へ徒歩5分(400m)

主要駅からのアクセス	新大阪	JR新大阪	JRおおさか東線			約22分		
	京 都	JR京都	JR京都線 (新快速)	JR新大阪	JRおおさか東線	約60分		
	大 阪	JR大阪	JR環状線	鶴橋	近鉄奈良線 (準急)	約30分		
		地下鉄梅田	地下鉄御堂筋線	大阪難波	近鉄奈良線 (準急)	約30分		
	難 波	近鉄大阪難波	近鉄奈良線 (準急)		約12分			
	天王寺	JR天王寺	JR環状線	鶴橋	近鉄奈良線 (準急)	約20分		
	和歌山	JR和歌山	JR阪和線 (快速)	JR天王寺	JR環状線	鶴橋	近鉄奈良線 (準急)	約85分
		南海和歌山市	南海本線 (快速)	大阪難波	近鉄奈良線 (準急)		約80分	
	奈 良	近鉄奈良	近鉄奈良線 (準急)				約40分	
	神 戸	阪神三宮	阪神本線 (快速急行)	阪神尼崎	阪神なんば線	大阪難波	近鉄奈良線 (準急)	約50分

近鉄河内小阪駅

西へ徒歩約4分

大阪樟蔭女子大学

J R 河内永和駅

東へ徒歩約5分

<https://www.osaka-shoin.ac.jp/gs/>



●あなたの質問にインターネットでお答えしています。資料請求はホームページでも受付けています。●学校見学は、随時受付けています。入試広報課までお問い合わせください。